

第66回 丹後織物求評会 開幕

経済産業大臣賞

第1部 後染織物(和装着尺)

『綾涛ちりめん』

田勇機業株式会社 (京丹後市網野町)



入賞作品決定!!

丹後織物工業組合では、第66回丹後織物求評会を11月17日(火)～19日(木)の3日間に亘り、京都産業会館コムスホールにて開催。初日の17日は、組合員29業者から出品された180点の作品について審査会が行われた。

審査会では山田 純司氏(京都織物卸商業組合副理事長)を審査委員長に、総勢17名の審査員が「後染織物」・「先染織物」の各部門に別れて織技術、市場性、意匠面など細目にわたった厳格な審査が行われた。

その結果、栄えある経済産業大臣賞に後染織物部門の「綾涛ちりめん」(田勇機業株式会社)が選出されたほか、中小企業庁長官賞に「横段ぼかし 小葵菱」(江原産業株式会社)、経済産業省製造産業局長賞に「風通お召 白黒銀通し横段」(篠春織物株式会社)と「ぼぼぼたんぼぼ〜ん」(織元金重)、また農林水産省生産局長賞には「御召 辻が花木の葉詰め」(株式会社ワタマサ)、近畿経済産業局長賞に「真奈衣 野蚕糸横段」(株式会社吉村商店)がそれぞれ選出されるなど、12賞16点の入賞作品を決定した。(入賞作品および審査総評は裏面のとおり)

なお今回、初の試みとして第3部「男のきもの」部門を設け、11業者から出品された23点の作品について、自分が着てみたい、また気に入ったきものを求評会審査員と展示会初日となる18日の来場者による投票によって入賞作品を選出する特別審査が実施されており、その結果発表が展示会2日目の19日に行われるのも見所となっている。

インバウンド客に支えられ緩やかな回復傾向にある日本経済ではあるが、地方経済への波及の実感は薄く、とりわけ丹後産地は一段と厳しさが増している環境のなか、『織技絹彩(おりわざけんさい)〜丹後 Quality〜』をテーマに、意欲ある31業者が自社の技術を活かした作品により新たな活路を求めて18日・19日の展示会に臨む。

入賞作品

経済産業大臣賞	第1部	綾涛ちりめん	田勇機業(株)
中小企業庁長官賞	第2部	横段ぼかし 小葵菱	江原産業(株)
経済産業省製造産業局長賞	第1部	風通お召 白黒銀通し横段	篠春織物(株)
〃	第1部	ぽぽぼたんぽぽ〜ん	織元金重
農林水産省生産局長賞	第2部	御召 辻が花木の葉詰め	(株)ワタマサ
近畿経済産業局長賞	第1部	真奈衣 野蚕糸横段	(株)吉村商店
京都府知事賞	第1部	ちりめん帯揚 格子	(有)梅徳機業場
〃	第2部	袋帯 経ヨロケ	松田織物(有)
全日本きもの振興会会長賞	第1部	経東雲ちりめん	田勇機業(株)
京都織物卸商業組合理事長賞	第1部	東雲三越	田勇機業(株)
日本絹人織織物工業組合連合会理事長賞	第1部	格子花	丹後生糸(株)
日本絹人織織物工業会会長賞	第1部	木賊ちぢみ	田勇機業(株)
織研新聞社賞	第1部	真奈衣 柳条お召 (タッサー格子に小市松)	(株)吉村商店
丹後織物工業組合理事長賞	第1部	変り無地 氷雨	川八工場
〃	第1部	モール縫取り 水玉	前満織物
〃	第2部	縞に横段 小花	篠春織物(株)

※第1部・・・後染織物 第2部・・・先染織物

《 審査総評 》

観光客が多く来京する11月ですが、きもの関連のイベントが多い月でもあります。11月15日の「きもの日」や七五三詣り、今年も多くのかきもの姿を目にすることができました。レンタルきもの色柄に文句を言う方もいらっしゃいますが、きもの姿が増えることは業界にはプラスではないでしょうか。神社での和婚ブームも定着し、打掛姿の日本的な女性美も再認識されています。

琳派四百年の今年、国立博物館には光悦、宗達、抱一の風神雷神の三作同時鑑賞に一時間を超す長い列ができました。

世間は「和ブーム」とも言える昨今ではありますが、その風が丹後にまで届くにはもう少し時間が必要かもしれません

丹後産地は技術を売り物にした待ちの姿勢から、企画力・提案力・意匠力を備えて自ら新分野へチャレンジされています。今回の求評会にもその結果が表れていると感じました。

新たな分野として「男のきもの」の発表、織りの技術を熟知した丹後の意匠力の素晴らしさ、先染や薄物の新商品の開発、丹後産地の技術力・意匠力の助けを借り、業界がますます発展していくことを祈念して総評とさせていただきます。